

參考資料

調査1：試験評価者養成講習 アンケート用紙

介護技能実習評価試験 平成30年度 試験評価者養成講習 アンケート

今後の講習実施に当たっての参考とさせていただくため、以下のアンケートにご回答いただきますよう、お願い申し上げます。アンケートに回答がない場合は、講習を修了したものとみなしませんのでご注意ください。

◆ I. 試験評価者養成講習の内容についてお聞きします。

(1) 「1. 外国人技能実習制度について」の、内容の理解はできましたか。(どれかひとつ)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 十分理解できた | <input type="checkbox"/> だいたい理解できた |
| <input type="checkbox"/> あまり理解できなかった | <input type="checkbox"/> 全く理解できなかった |

(2) 「2. 介護技能実習評価試験の仕組み」の、内容の理解はできましたか。(どれかひとつ)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 十分理解できた | <input type="checkbox"/> だいたい理解できた |
| <input type="checkbox"/> あまり理解できなかった | <input type="checkbox"/> 全く理解できなかった |

(3) 「3. 試験評価者の役割と業務」の、内容の理解はできましたか。(どれかひとつ)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 十分理解できた | <input type="checkbox"/> だいたい理解できた |
| <input type="checkbox"/> あまり理解できなかった | <input type="checkbox"/> 全く理解できなかった |

(4) 「4. 実技試験の評価方法」の、内容の理解はできましたか。(どれかひとつ)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 十分理解できた | <input type="checkbox"/> だいたい理解できた |
| <input type="checkbox"/> あまり理解できなかった | <input type="checkbox"/> 全く理解できなかった |

(5) 「4. 実技試験の評価方法」にて、2つの実技試験課題について、試験評価者の視点で再現動画を使用しましたが、いかがでしたか。(どちらかひとつ)

- | | |
|-----------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> わかりやすかった | |
| <input type="checkbox"/> わかりづらかった (理由 : |) |

(6) 「5. 試験実施機関と試験評価者の関係」の、内容の理解はできましたか。(どれかひとつ)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 十分理解できた | <input type="checkbox"/> だいたい理解できた |
| <input type="checkbox"/> あまり理解できなかった | <input type="checkbox"/> 全く理解できなかった |

(7) 講習の時間は適当でしたか (どれかひとつ)

- | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 長かった | <input type="checkbox"/> 適当 | <input type="checkbox"/> 短かった |
|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|

(8) 講習内容で、もっと詳しく聞きたかった内容はどれですか。(どれかひとつ)

- | | |
|---------------------------------------------|--------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 外国人技能実習制度の理解 | <input type="checkbox"/> 2. 介護技能実習評価試験の仕組み |
| <input type="checkbox"/> 3. 試験評価者の役割と業務 | <input type="checkbox"/> 4. 実技試験の評価方法 |
| <input type="checkbox"/> 5. 試験実施機関と試験評価者の関係 | |
| <input type="checkbox"/> 6. その他 () | |

◆ II. 今後の試験評価者養成講習の開催の参考とさせていただくため、お聞きします。

(1) 講習に求める内容を選択してください。(複数選択)

- | | |
|-------------------------------------------|------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自分のペースで学習したい | <input type="checkbox"/> 講義形式で学習したい |
| <input type="checkbox"/> 受講日を複数から選択したい | <input type="checkbox"/> 事前学習(予習)したい |
| <input type="checkbox"/> 映像等を用いた学習がしたい | <input type="checkbox"/> グループワーク等の演習がしたい |
| <input type="checkbox"/> いつでも見返せるテキストが欲しい | <input type="checkbox"/> 他の受講生と意見交換したい |
| <input type="checkbox"/> 質疑応答の時間がほしい | <input type="checkbox"/> その他 |

※その他の場合

(2) 講習はどのような形式で開催されることを望みますか。(どれかひとつ)

- | | |
|-----------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> WEB形式(eラーニング等) | <input type="checkbox"/> 集合講習形式 |
| <input type="checkbox"/> その他() | |

(3) WEB形式で受講する場合、どのような機器で受講すると思いますか。(複数回答)

- | | | | |
|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> PC | <input type="checkbox"/> タブレット | <input type="checkbox"/> スマートフォン | <input type="checkbox"/> その他() |
|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|

(4) 実際に試験評価を行うにあたって、事務局の体制として求めるものはありますか。(複数選択)

- | | |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 業務を円滑に進めるための相談窓口 | <input type="checkbox"/> 試験評価者としてさらに知識を深めるための研修 |
| <input type="checkbox"/> 試験評価者間のコミュニケーションツール | <input type="checkbox"/> 事例やQ&A等の支援情報の提供 |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

※その他の場合

◆ III. 所属する事業所・施設等での技能実習生の受入状況についてお聞きします。

(1) 現在、所属する事業所・施設等で、技能実習生を受入れていますか。(どちらかひとつ)

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 受入れている | <input type="checkbox"/> 受入れていない |
|---------------------------------|----------------------------------|

(2) (1)で「受入れている」と回答した場合、人数と国籍をお聞かせください。※任意

人(国籍:)

【会場】

アセッサー／ 外部評価審査 員ID	受講者 名	
都道府県		年代	20代、30代、40代、50代、60代以上

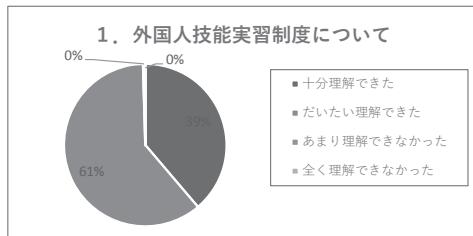
ご記入いただきまして、ありがとうございます。

調査1：試験評価者養成講習 アンケート結果

I. 試験評価者養成講習の内容についてお聞きします。

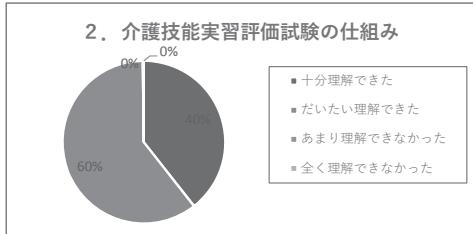
(1) 「1. 外国人技能実習制度について」の、内容の理解はできましたか。（どれかひとつ）

項目	人数	割合
十分理解できた	172	38.7%
だいたい理解できた	270	60.8%
あまり理解できなかった	2	0.5%
全く理解できなかった	0	0.0%
合計	444	100.0%



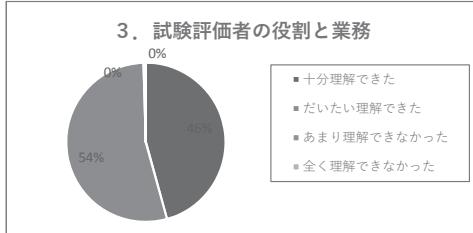
(2) 「2. 介護技能実習評価試験の仕組み」の、内容の理解はできましたか。（どれかひとつ）

項目	人数	割合
十分理解できた	175	39.4%
だいたい理解できた	268	60.4%
あまり理解できなかった	1	0.2%
全く理解できなかった	0	0.0%
合計	444	100.0%



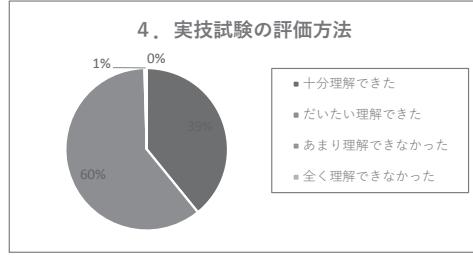
(3) 「3. 試験評価者の役割と業務」の、内容の理解はできましたか。（どれかひとつ）

項目	人数	割合
十分理解できた	203	45.7%
だいたい理解できた	239	53.8%
あまり理解できなかった	2	0.5%
全く理解できなかった	0	0.0%
合計	444	100.0%



(4) 「4. 実技試験の評価方法」の、内容の理解はできましたか。（どれかひとつ）

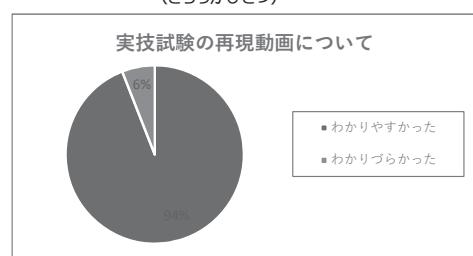
項目	人数	割合
十分理解できた	173	39.1%
だいたい理解できた	267	60.4%
あまり理解できなかった	2	0.5%
全く理解できなかった	0	0.0%
未記入	2	-
合計	444	100.0%



(5) 「4. 実技試験の評価方法」にて、2つの実技試験課題について、試験評価者の視点で再現動画を使用しましたが、いかがでしたか。

（どちらかひとつ）

項目	人数	割合
わかりやすかった	411	92.6%
わかりづらかった	26	5.9%
未記入	7	-
合計	444	100.0%

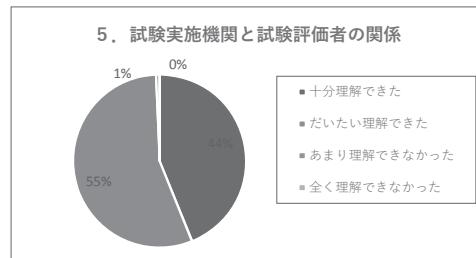


※「わかりづらかった」と回答した人の意見（複数意見）

意見	人数
音が小さい	6
スクリーンが見えづらい	5
時間の表示が見えなかった	4
音声が止まったよう評価しづらい（車いす）	3
動作が鮮明でない、わかりづらい	1
部分的にできていたりできていなかったり	2
都度の声かけの判断基準が不明瞭	3
安定した姿勢の判断基準が不明瞭	1
報告の仕方の判断基準が不明瞭	1
評価の答え合わせをしてほしい	1
初級のレベル感が低く、どのような時に不合格になるのか	1
利用者票の確認時間がほしい	1
質問の時間がほしい	1
早く進んで追いつかない	1

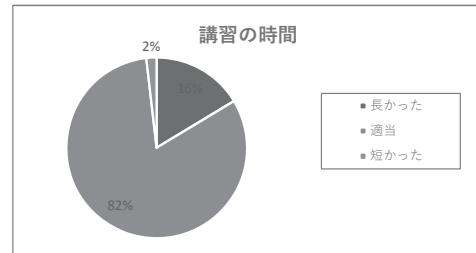
(6) 「5. 試験実施機関と試験評価者の関係」の、内容の理解はできましたか。（どれかひとつ）

項目	人数	割合
十分理解できた	194	43.9%
だいたい理解できた	245	55.4%
あまり理解できなかった	3	0.7%
全く理解できなかった	0	0.0%
未記入	2	-
合計	444	100.0%



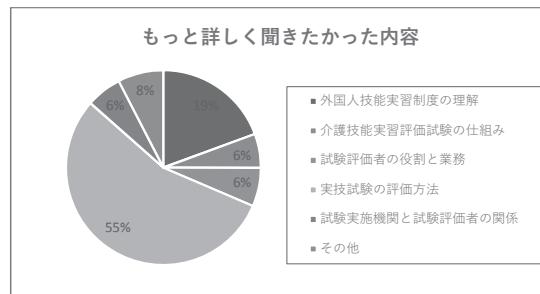
(7) 講習の時間は適当でしたか。（どれかひとつ）

項目	人数	割合
長かった	72	16.3%
適当	361	81.9%
短かった	8	1.8%
未記入	3	-
合計	444	100.0%



(8) 講習内容で、もっと詳しく聞きたかった内容はどれですか。（どれかひとつ）

項目	人数	割合
外国人技能実習制度の理解	82	19.4%
介護技能実習評価試験の仕組み	24	5.7%
試験評価者の役割と業務	27	6.4%
実技試験の評価方法	233	55.1%
試験実施機関と試験評価者の関係	25	5.9%
その他	32	7.6%
未記入	21	-
合計	444	100.0%



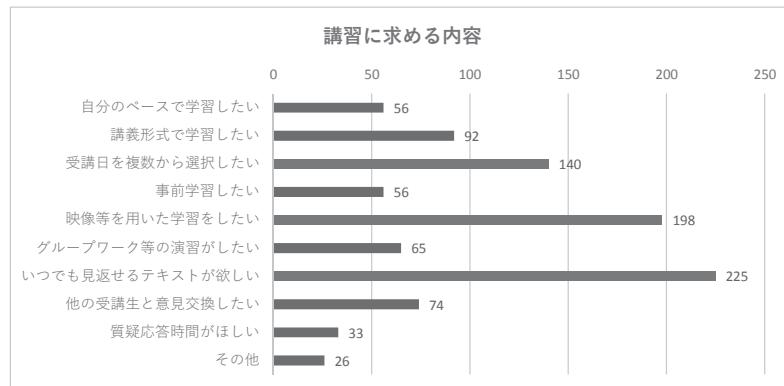
※「その他」と回答した人の意見（複数意見）

意見	人数
専門級・上級の評価について	2
受検者への指導内容	2
評価の留意内容	1
中止中断等のイレギュラー対応	1
技能実習指導員が間違えた場合の評価	1
演習	1
評価に迷った場合の対応（備考欄への記載）	1
評価が難しい場面の想定	1
技能実習指導員の業務の理解	1
試験評価者の活動頻度	1
現在の入国状況	1
質疑応答	1
今後のQ&A	1

II. 今後の試験評価者養成講習の開催の参考とさせていただくため、お聞きします。

(1) 講習に求める内容を選択してください。（複数選択）

項目	人数
自分のペースで学習したい	56
講義形式で学習したい	92
受講日を複数から選択したい	140
事前学習したい	56
映像等を用いた学習をしたい	198
グループワーク等の演習がしたい	65
いつでも見返せるテキストが欲しい	225
他の受講生と意見交換したい	74
質疑応答時間がほしい	33
その他	26
合計	965



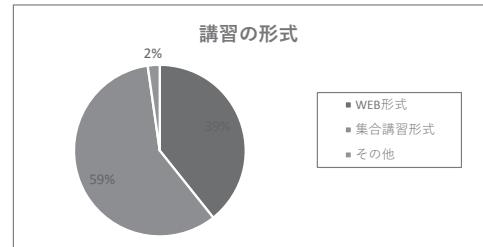
※「その他」と回答した人の意見

意見	人数
修了要件に確認テスト等を設けるべき	4
開催場所を増やしてほしい	2
ネットで確認、テキストデータがほしい	2
会場にゆとりがほしい	1
スクリーンが見えづらい	1
参加確定の連絡が早くほしい	1
説明者が変わると内容の重複がある	1
演習時間を持長くしてほしい	1
演習がないとイメージがつかない	1
趣味レーニングで実際に評価を学びたい	1
質疑応答	1
今後のQ&A	1

意見	人数
中止事例等を映像で学習したい	1
演習の答えあわせをしてほしい	1
評価を統一させるため、判断するうえでのポイントをさらに教えてほしい	1
同一県の試験評価者と情報交換したい	1
映像を用いたイーラーニング学習にしてほしい	1
簡略化したテキストがほしい	1
評価のQ&Aがほしい	1
フォローアップの講習がほしい	1
技能実習指導員講習と連動してほしい	1

(2) 講習はどのような形式で開催されることを望みますか。(どれかひとつ)

項目	人数	割合
WEB形式	174	39.3%
集合講習形式	259	58.5%
その他	10	2.3%
未記入	1	-
合計	444	100.0%

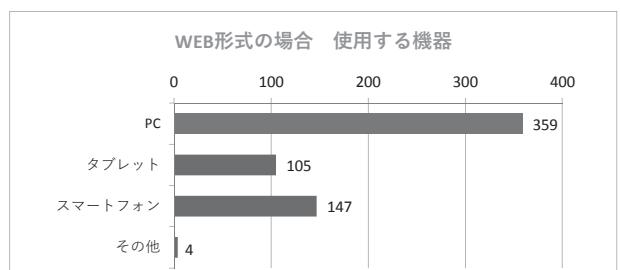


※「その他」と回答した人の意見

意見	人数
両方必要	4
どちらでも構わない	3
講義の内容はWEB、評価の練習は集合講習	1
意見交換会があるなら集合講習	1
質の高い研修方式	1

(3) WEB形式で受講する場合、どのような機器で受講すると思いますか。(複数回答)

項目	人数
PC	359
タブレット	105
スマートフォン	147
その他	4
合計	615



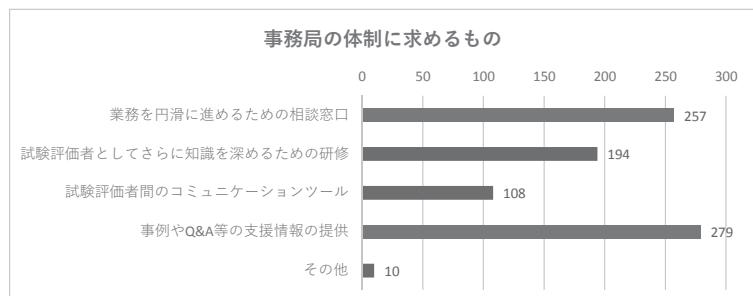
※その他の意見 「通信制限があるのでWEBは推奨しない」

(4) 実際に試験評価を行なうにあたって、事務局の体制として求めるものがありますか。(複数回答)

項目	人数
業務を円滑に進めるための相談窓口	257
試験評価者としてさらに知識を深めるための研修	194
試験評価者間のコミュニケーションツール	108
事例やQ&A等の支援情報の提供	279
その他	10
合計	848

※「その他」と回答した人の意見

意見
何か起きた時の連絡先
メール等での相談対応
WEB質問ページの設置
試験評価者養成講習の質の向上
愛知県開催してほしい
介護現場における外国語研修
評価者として滞りなく業務が出来ているかの評価
一人で評価するのに十分な資料と説明がほしい
当日のタイムスケジュールを知りたい



調査2：他職種の技能実習評価試験実施機関に対する依頼状、アンケート用紙

振発 第 73 号

平成30年11月21日

各技能実習評価試験実施機関 御中

一般社団法人シルバーサービス振興会

理事長 水田・雄

外国人技能実習評価試験における試験監督者養成に関する アンケート調査の実施について（依頼）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当会は外国人技能実習制度における「介護職種」の技能実習評価試験実施機関であり、平成29年11月1日に職種追加され、年明け以降実施される試験に向け、体制を整えているところでございます。「介護」は、利用者の自立支援を実現するための思考過程に基づく行為であり、介護職となる技能実習生は個々に異なる利用者の状態像に応じた介護を提供することとなるため、試験の実施にあたっては、試験監督者（介護においては、試験評価者という。）は技能実習生が勤務する事業所・施設等（実習実施者）に訪問し、試験を実施することとしています。このため、介護技能実習評価試験では、業界総意のもと、試験評価者を全国に配置し、隨時試験を実施できる体制作りを進めているところでございます。

今後、試験を公平・公正に実施していくにあたり、全国に配置する試験評価者の質の維持・向上のために試験実施機関として行うべき対応について、すでに技能実習評価試験実施機関としてご実績のある皆様に、試験監督者養成についてアンケート調査をさせていただきたく、ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださるようお願い申し上げます。

なお、本アンケートは、厚生労働省 社会福祉推進事業「介護技能実習評価試験における試験評価者の資質向上のための総合的な支援ツールの開発に関する調査研究事業」の一環として実施しております。結果につきましては、機関を特定できないよう全体の結果とし、本調査研究の報告書をもって、後日送付させて頂くこととしております。

つきましては、別紙アンケート票にご記入のうえ、平成30年12月14日（金）までに、下記までご返信賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

【アンケート調査票の返送先及び問い合わせ先】

一般社団法人シルバーサービス振興会 担当：企画部

住所：東京都港区西新橋3丁目25番33号 NP御成門ビル6階

電話 03-6402-3865 FAX 03-5402-4884

アンケート調査票

平成 30 年度社会福祉推進事業「介護技能実習評価試験における試験評価者の資質向上のための総合的な支援ツールの開発に関する調査研究事業」

外国人技能実習評価試験における試験監督者養成に関するアンケート調査票

【ご記入のご注意】

- 質問は、該当する選択肢に☑をつけるもの、数値を記入するもの、具体的に記載いただくものがあります。
- ☑をつけていただく質問は、原則、選択肢からひとつ選んでいただきますが、複数選択可と記載がある設問については複数の該当する回答を選んでいただきます。
- 回答期限

2018年12月14日（金）

※ FAX、メールによる送信可

※ 様式は下記よりダウンロードできます。

http://www.espa.or.jp/internship_recruitment/questionnaire20181120.docx

- 提出先

一般社団法人シルバーサービス振興会 企画部

FAX : 03-5402-4884

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

ご回答いただいた方についてお答えください。

貴機関名		
貴部署名		
ご担当者名		
ご連絡先	電話	
	FAX	
	Mail	

※ご回答いただいた内容について、不明な点や詳細をお聞きしたい点があった場合はご質問させていただきたい、ご回答者自身について、上記の項目のご記入をお願い申し上げます。

※なお、本調査で回答していただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありません。

1. 基本情報

①. 取扱職種	()		
②. 職種追加年	()		
③. 受検者数(1号)	()名 ※2017年度実績		
④. 試験実施方法	<input type="checkbox"/> 試験実施機関が定めた会場に受検者を集めて実施(集合方式) <input type="checkbox"/> 実習実施者で実施(訪問方式) <input type="checkbox"/> 集合方式と訪問方式の併用 <input type="checkbox"/> その他()		
⑤. 試験問題の作問 頻度 (※学科・実技それぞれ回答をお願いします。)	学科 試験	<input type="checkbox"/> 認定時に作問し、その中から毎年選んで出題している <input type="checkbox"/> 定期的に作問し、入替を行っている(具体的な頻度:) <input type="checkbox"/> 不定期に見直し・作問し、入替を行っている (入替のタイミング)	
	実技 試験	<input type="checkbox"/> 認定時に作問し、その中から毎年選んで出題している <input type="checkbox"/> 定期的に作問し、入替を行っている(具体的な頻度:) <input type="checkbox"/> 不定期に見直し・作問し、入替を行っている (入替のタイミング)	
⑥. 試験実施方法に関する説明等の講習を行っていますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		
⑦. ⑥で「はい」を選択された場合、その講習の対象者を教えてください。(※複数選択可)	<input type="checkbox"/> 監理団体 <input type="checkbox"/> 実習実施者 <input type="checkbox"/> 受検者 <input type="checkbox"/> その他()		
⑧. ⑥で「はい」を選択された場合、その講習の参加費用を教えてください。	<input type="checkbox"/> 有料 (参加費: 円) <input type="checkbox"/> 無料		

⑥ 「はい」
の場合

2. 試験監督者について

①. 試験監督者数	()名 ※2018年10月末時点		
②. 試験監督者の雇用 形態 (※複数選択可)	<input type="checkbox"/> 直接雇用(定年以外の雇用期間の定めなし) <input type="checkbox"/> 直接雇用(雇用期間の定めなし) <input type="checkbox"/> 派遣社員 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> その他()		
③. 試験監督者の配置 状況	<input type="checkbox"/> 全都道府県に配置 <input type="checkbox"/> 地方単位(北海道、東北、関東、中部、中国、四国、九州等)で、全ての地方に配置 <input type="checkbox"/> 地方単位(北海道、東北、関東、中部、中国、四国、九州等)で、一部の地方に配置 <input type="checkbox"/> 試験実施機関に配置(試験実施機関所在地に配置されている) <input type="checkbox"/> その他()		

④. 試験監督者の採用 (募集)頻度	定期的に採用(募集) (具体的な頻度:) <input type="checkbox"/> 不定期に採用(募集) (具体的な頻度:) <input type="checkbox"/> その他()
⑤. 試験監督者の任期 (※複数選択可)	<input type="checkbox"/> 任期は設けていない <input type="checkbox"/> 任期を設けている (具体的な期間:) ⇒ 更新(<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無) <input type="checkbox"/> 定年を設けている
⑥. 試験監督者になるための要件 (※複数選択可)	<input type="checkbox"/> 試験実施機関が指定する資格を有すること <input type="checkbox"/> 試験監督者になるための講習・研修を修了すること <input type="checkbox"/> 試験監督者になるための試験に合格すること <input type="checkbox"/> その他()
⑦. ⑥で「試験監督者になるための講習・研修を修了すること」、「試験監督者になるための試験に合格すること」を選択された場合、講習(研修)や試験の開催頻度はどれくらいですか。	<input type="checkbox"/> 定期的に開催(具体的な頻度:) <input type="checkbox"/> 不定期に開催(具体的な頻度:) <input type="checkbox"/> その他()
⑧. ⑥で「試験監督者になるための講習・研修を修了すること」、「試験監督者になるための試験に合格すること」を選択された場合、どのような方式で実施していますか。	<input type="checkbox"/> 集合方式 <input type="checkbox"/> e ラーニング等の WEB 方式 <input type="checkbox"/> その他()
⑨. 試験監督業務に <u>一定期間従事していない試験監督者</u> に対して、研修等の要件は定めていますか。	<input type="checkbox"/> はい(要件を定めている) <input type="checkbox"/> いいえ(要件を定めていない)
⑩. ⑨で「はい」を選択された場合、具体的にどのような要件を定めていますか。(※自由記述)	例: 養成講習の再受講、試験監督者になるための試験の再試験等
⑪. 試験監督者に支払う報酬は、試験1回につきですか。1日あたりですか。	<input type="checkbox"/> 1回の試験につき () 円 <input type="checkbox"/> 1日あたり () 円 <input type="checkbox"/> その他()

3. 試験監督者の評価の質の維持について

①. 試験監督者が行う評価の質を維持するために、何か取組みを行っていますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
②. ①で「はい」を選択された場合、どのような取組みを行っていますか。(※複数選択可)	<input type="checkbox"/> 定期的な会議や研修等の実施 <input type="checkbox"/> eラーニング等の自己学習のツールを用意 <input type="checkbox"/> 定期的に事務局スタッフが試験時に立ち会い、指導を実施 <input type="checkbox"/> その他()
③. 実技試験では採点基準の他に、試験監督者ごとの評価のブレを生じさせないために、評価するうえでの留意点やさらに詳細な基準等を作成していますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
④. ③で「はい」を選択された場合、その詳細な基準等は、試験監督者の意見を反映させ、定期的に更新していますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

4. その他

①. 試験監督者の専用ホームページはありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
②. ①で「はい」を選択された場合、その専用ホームページにはどのような内容が含まれますか。(※複数選択可)	<input type="checkbox"/> 試験監督者の登録情報の確認 <input type="checkbox"/> 試験監督者の登録情報の変更手続 <input type="checkbox"/> これまでの自身の試験監督実績 <input type="checkbox"/> 試験監督者が試験日の業務が可能か等の日程調整を行う機能 <input type="checkbox"/> 試験監督者が担当する試験の情報(場所、受検者の人等) <input type="checkbox"/> 試験監督者が試験実施後に、報告を行える機能 <input type="checkbox"/> 試験実施機関からのお知らせ等連絡事項 <input type="checkbox"/> 試験実施機関への問い合わせ <input type="checkbox"/> 試験監督者同士が意見交換できる機能 その他()
③. 試験監督者同士の交流の機会を設けていますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
④. ③で「はい」を選択された場合、具体的にどのような内容ですか。(※自由記述)	[]

アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

調査3：第1弾検証調査の依頼状

介護技能実習評価試験における試験評価者の資質向上のための 総合的な支援ツールの開発に関する調査研究事業 (実施及びアンケート) ご協力のお願い

2019年1月15日
一般社団法人 シルバーサービス振興会

平素より、介護技能実習評価試験の運営にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

弊会では、今年度厚生労働省より受託している事業「介護技能実習評価試験における試験評価者の資質向上のための総合的な支援ツールの開発に関する調査研究事業」の一環で、試験評価者の資質向上のためのWEB支援ツールの開発に着手しておりますが、開発段階での検証を実施することとしています。

既にご承知の通り、介護技能実習評価試験は介護現場での技能実習生・技能実習指導員の負担を軽減するため、技能実習生が勤務している事業所・施設等（試験実施場所）に試験評価者が出張して試験を実施する「出張方式」を採用しています。つきましては、同一都道府県内で適正かつ円滑に試験が実施できるよう、全国に試験評価者を配置する必要があります。今年度は、全国7都市（札幌、仙台、東京、大阪、広島、松山、福岡）で試験評価者養成講習を実施し（※松山は2月に実施予定）、現在までに約450名の試験評価者を養成していますが、今後も全国で均一かつ継続的に試験評価者を養成していくための仕組みを検討しております。

また、試験は隨時行われることから、試験評価者によって試験を経験する回数には差が生じます。試験の公平・公正な実施の観点から、試験評価者間に違いがないよう、業務の流れや評価方法等を振り返ることができるフォローアップの仕組みも必要と考えております。

本検証では、集合講習と比較した際のWEB支援ツールの有効性、さらに試験評価者のフォローアップとしてのWEB支援ツールを検討するため、実施させていただくものです。そのため、試験評価者として既に登録している皆様を対象とし、ご協力に関して快諾いただいた方々にご協力をお願い申し上げます。

皆様におかれましては、大変ご多用の最中とは存じますが、検証の趣旨をご理解頂き、本検証調査にご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

- ※ 本検証は、平成30年度厚生労働省社会福祉推進事業「介護技能実習評価試験における試験評価者の資質向上のための総合的な支援ツールの開発に関する調査研究事業」の一環として実施するものです。
- ※ ご協力いただきました内容は本検証調査にのみ用いますが、結果は今後のWEB支援ツール制作の参考にさせていただきます。

WEB 支援ツールの開発に関する検証調査 実施概要

【ご協力対象】

介護技能実習評価試験の試験評価者

第1弾：20名 第2弾：100名

【実施期間】

第1弾：2019年1月15日（火）～2019年1月25日（金）

第2弾：2019年2月4日（月）～2019年2月22日（金）

【実施方法】

- ・別紙でご案内する「WEB ツール」にログインし、動画を視聴してください。
- ・期間内に、全ての動画視聴後、アンケートの回答をお願いいたします。
- ・電話でヒアリングさせていただく場合もございます。

【実施内容】

第1弾：初級実技試験 模擬評価、評価基準の考え方の確認

第2弾：

- ・試験評価者養成講習のカリキュラム全体の確認（技能実習制度の理解、試験の仕組み、試験評価者の役割と業務、学科・実技試験の実施方法、初級 実技試験 模擬評価 等）
- ・模擬評価や例外事項への対応等、養成講習にはなかった部分の確認

【アンケートのご提出について】

WEB ツール内にあるアンケートフォームにご入力の上、送信してください。

【問い合わせ先】

WEB ツールに使い方について

ClipLine 株式会社 CS 部（10:00～18:00、土日祝休）

TEL 050-5578-9888 E-mail : help@clipline.jp

本検証調査に関して

一般社団法人シルバーサービス振興会 企画部（9:30～18:00、土日祝休）

TEL 03-6402-3865 E-mail : kaigointernship@espa.or.jp

(別紙)

第1弾検証の動画に関して

第1弾の検証では、実技試験（初級）の評価方法に関するより理解を深めていただくために、大きく分けて2種類の動画を確認していただきます。STEP1では「初級実技試験の模擬評価」、STEP2では「試験評価者によって評価結果に差異がでた評価基準の考え方」についてです。

皆様からのご意見は出来る限り第2弾の検証に反映し、今後のWEB支援ツール開発の参考にさせていただきます。

<動画の構成>

◆STEP1

- 01_STEP1 を始める前に
- 02_評価票の使用方法
- 03_座位での上衣の着脱の介助
- 04_車いすでの移動の介助
- 05_事故時の対応 ※判断等試験
- 06_車いすの点検
- 07_適切な手洗い

◆STEP2

- 01_STEP2 を始める前に
- 02_評価基準1-1（評価基準：介助の中で行われる動作について、都度利用者に伝えている。）
- 03_評価基準1-2（評価基準：介助の中で行われる動作について、都度利用者に伝えている。）
- 04_評価基準1-3（評価基準：介助の中で行われる動作について、都度利用者に伝えている。）
- 05_評価基準2-1（評価基準：介助中、利用者に体調の変化と痛みの有無を確認し、変化や痛みがあった場合には技能実習指導員に報告している。）
- 06_評価基準2-2（評価基準：介助中、利用者に体調の変化と痛みの有無を確認し、変化や痛みがあった場合には技能実習指導員に報告している。）
- 07_判断に迷った時の対応方法

<準備いただくもの>

- ・ STEP1 → 「業務実施マニュアル（別冊）」の評価票をコピーして使用してください。
※原紙に直接書き込まないように注意してください。
- ・ STEP2 → 特になし

調査3：第2弾検証調査の依頼状

介護技能実習評価試験における試験評価者の資質向上のための 総合的な支援ツールの開発に関する調査研究事業 (実施及びアンケート) ご協力のお願い

2019年1月15日
一般社団法人 シルバーサービス振興会

平素より、介護技能実習評価試験の運営にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

弊会では、今年度厚生労働省より受託している事業「介護技能実習評価試験における試験評価者の資質向上のための総合的な支援ツールの開発に関する調査研究事業」の一環で、試験評価者の資質向上のためのWEB支援ツールの開発に着手しておりますが、開発段階での検証を実施することとしています。

既にご承知の通り、介護技能実習評価試験は介護現場での技能実習生・技能実習指導員の負担を軽減するため、技能実習生が勤務している事業所・施設等（試験実施場所）に試験評価者が出張して試験を実施する「出張方式」を採用しています。つきましては、同一都道府県内で適正かつ円滑に試験が実施できるよう、全国に試験評価者を配置する必要があります。今年度は、全国7都市（札幌、仙台、東京、大阪、広島、松山、福岡）で試験評価者養成講習を実施し（※松山は2月に実施予定）、現在までに約450名の試験評価者を養成していますが、今後も全国で均一かつ継続的に試験評価者を養成していくための仕組みを検討しております。

また、試験は隨時行われることから、試験評価者によって試験を経験する回数には差が生じます。試験の公平・公正な実施の観点から、試験評価者間に違いがないよう、業務の流れや評価方法等を振り返ることができるフォローアップの仕組みも必要と考えております。

本検証では、集合講習と比較した際のWEB支援ツールの有効性、さらに試験評価者のフォローアップとしてのWEB支援ツールを検討するため、実施させていただくものです。そのため、試験評価者として既に登録している皆様を対象とし、ご協力に関して快諾いただいた方々にご協力をお願い申し上げます。

皆様におかれましては、大変ご多用の最中とは存じますが、検証の趣旨をご理解頂き、本検証調査にご協力を賜りたく、お願ひ申し上げます。

- ※ 本検証は、平成30年度厚生労働省社会福祉推進事業「介護技能実習評価試験における試験評価者の資質向上のための総合的な支援ツールの開発に関する調査研究事業」の一環として実施するものです。
- ※ ご協力いただきました内容は本検証調査にのみ用いますが、結果は今後のWEB支援ツール制作の参考にさせていただきます。

WEB 支援ツールの開発に関する検証調査 実施概要

【ご協力対象】

介護技能実習評価試験の試験評価者 100 名

【実施期間】

2019年2月4日（月）～2019年2月22日（金）

【実施方法】

- ・別紙でご案内する「WEB ツール」にログインし、動画を視聴してください。
- ・期間内に、全ての動画視聴後、アンケートの回答をお願いいたします。
- ・電話でヒアリングさせていただく場合もございます。

【実施内容】

- ・試験評価者養成講習のカリキュラム全体の確認（技能実習制度の理解、試験の仕組み、試験評価者の役割と業務、学科・実技試験の実施方法、初級 実技試験 模擬評価 等）
- ・模擬評価や例外事項への対応等、養成講習にはなかった部分の確認

【アンケートのご提出について】

WEB ツール内にあるアンケートフォームにご入力の上、送信してください。

【問い合わせ先】

WEB ツールに使い方について

ClipLine 株式会社 CS 部 (10:00～18:00、土日祝休)
TEL 050-5578-9888 E-mail : help@clipline.jp

本検証調査に関して

一般社団法人シルバーサービス振興会 企画部 (9:30～18:00、土日祝休)
TEL 03-6402-3865 E-mail : kaigointernship@espa.or.jp

調査3：第2弾検証調査の説明資料

厚生労働省 平成30年度社会福祉推進事業

介護技能実習評価試験における試験評価者の資質向上のための総合的な支援ツールの開発に関する調査研究事業

「試験評価者の資質向上のためのWEB支援ツールの開発に関する検証」

検証目的

本検証では、今年度、試験評価者として登録された皆様を対象に、標記事業で検討しているWEB支援ツールを利用していただき、「試験評価者養成講習（以下、集合講習）と比較した際の有効性の検証」、「フォローアップとしてのWEB支援ツールの検討」を行うことを目的としております。

そのため、本WEB支援ツール（以下、本WEBツール）は、試験評価者養成講習のカリキュラムをもとにより理解が深められるよう、順番通りに学習していただくことや、各カリキュラム細分化し自由な時間に自分のペースで反復しながら受講できるようにしております。

学習終了後には、アンケートに回答いただきます。今後の試験評価者の養成のあり方、またフォローアップのあり方を検討させていただくために、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

検証時期

2019年2月4日（月）～2月22日（金）

※全てを連続して学習した場合約3時間かかります。カテゴリごとの学習も可能ですので、ご自身のご都合の良い時間やペースにあわせて時間を区切って学習できます。（次頁参照）

検証の進め方

- 
- ・「試験評価者の資質向上のためWEB支援ツール（仮）」にログインします。
→ID、パスワードは「WEBツール操作のご案内」を確認。
 - ・順番に学習いただくことで理解が深まる構成としているため、最初のカテゴリ（A→H、さらに各々1→）から視聴します。
 - ・また、全ての動画を視聴してください。
 - ・学習の途中「【G】初級 実技試験 模擬評価」「STEP2」では、お手元にある「業務実施マニュアル（別冊）」を準備し、動画の指示通り、評価票をコピーしてください。
 - ・動画を見ながら評価票に記入し、「STEP2」の最後に、2つの模擬評価の評価結果をアンケートフォームから提出します。
 - ・全ての動画を視聴後、アンケートフォームからアンケートに回答します。

構成

- ・本 WEB ツールは、8の大項目（カテゴリ）と19の中項目（サブカテゴリ）から構成されています。中項目の中には、さらに小項目として複数の動画（クリップ）が用意されています。
- ・動画は全部で72（内5つはPDF資料）あります。
- ・1つの動画は1～5分程度です。
- ・動画の中には、資料がPDFとして掲載されているだけのものもあります。
- ・アンケートフォームからの回答は、「【G】初級 実技試験 模擬評価」と最後の計2回あります。

<WEB 支援ツールの構成> ※小項目（クリップ）については、別紙を参照ください。

カテゴリ	サブカテゴリ	動画数	学習時間 (目安)
【A】はじめに	はじめに	—	—
【B】外国人技能実習制度の理解	我が国と世界の高齢化の状況	3	10分
	外国人技能実習制度の目的と概要	4	10分
	外国人技能実習制度に介護職種が追加になった背景	4	10分
	介護職種における固有要件	4	10分
【C】介護技能実習評価試験の仕組み	介護技能実習評価試験の仕組み	3	10分
	学科試験	3	10分
	実技試験	4	10分
【D】試験評価者の役割と業務	試験評価者に求められる役割と倫理観	3	10分
	試験前の業務について（調整窓口担当者）	3	10分
	試験当日の業務について（試験評価者）	9	15分
【E】学科試験の実施方法	学科試験の実施方法	3	10分
【F】実技試験の実施方法	実技試験の実施方法	4	10分
	評価の方法	4	10分
	例外事項への対処方法	5	5分
【G】初級 実技試験 模擬評価	STEP 1	7	15分
	STEP 2（模擬評価）	6	20分
	アンケート ※評価票の提出	—	
【H】試験実施機関と試験評価者の関係	試験評価者の登録と任命	3	10分
アンケート	アンケート	—	5分
		計 67	約 3 時間

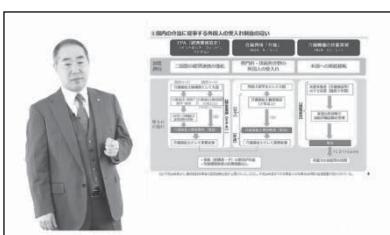
※矢印の順番で進めてください。

動画の種類

- ・本 WEB ツールでは、学習の理解を深めるために動画を複数のパターンで制作しています。

講師映像

講師が登場し、資料を解説する動画



再現映像

試験評価者の動き等を再現した動画



資料映像

資料をテロップやナレーションで説明する動画

学科試験の日本語

- ・受検者が理解できる程度の平易な日常の言葉（「主語+修飾語+述語」程度）とし、口語体を用いる。
- ・漢字かな交じり及び漢字にはルビを表記する。
なお、介護現場にて使用頻度の高い用語については漢字を用いた問題とする。

アンケート内容

- ・本 WEB ツールでは、学習の最後に下記の内容についてアンケートに回答していただきます。
- ・アンケートは、必ず全ての動画を視聴し、学習を終えてから回答してください。

<主なアンケート内容>

- ◇ WEB ツールの学習期間について
- ◇ 集合講習と比較した際の内容の理解度について
- ◇ 映像の見やすさ、わかりやすさについて
- ◇ 反復学習として活用が可能かについて
- ◇ 集合講習、WEB 講習それぞれの良さについて
- ◇ 操作案内、説明資料のわかりやすさについて

問い合わせ先

- ・検証や動画の内容に関するお問い合わせ

一般社団法人シルバーサービス振興会 企画部 (9:30~18:00 ※土日祝日除く)

TEL : 03-6402-3865 MAIL : kaigointernship@espa.or.jp

- ・WEB の操作方法、アンケートへの回答方法等に関するお問い合わせ

ClipLine (クリップライン) 株式会社 CS 部 (10:00~18:00 ※土日祝日除く)

TEL : 050-5578-9888 MAIL : help@clipline.jp

※お問い合わせの際には、「介護技能実習評価試験 試験評価者の〇〇（氏名）です」とお伝えください。

調査3：第1弾検証調査アンケート結果

【1】動画視聴環境についてお聞きします。

①WEBツールの動画を視聴した場所はどこですか。(複数回答可)	
項目	個数
職場	16
自宅	2
総計	18

【2】WEBツールは、どのような機器で受講しましたか。(複数回答可)

②WEBツールは、どのような機器で受講しましたか。(複数回答可)	
項目	個数
PC(パソコン)	15
スマートフォン	2
タブレット	1
総計	18

【3】WEBツールの内容についてお聞きします。

①STEP1の動画の本数は適当だと感じましたか。

①STEP1の動画の本数は適当だと感じましたか。	
項目	個数
適当	17
少ない	1
総計	18

②①で「少ない」と答えた方は、他にどのような動画があるとよいと感じましたか。

・食事の介助

③STEP2の動画の本数は適当だと感じましたか。

③STEP2の動画の本数は適当だと感じましたか。	
項目	個数
適当	18
総計	18

④③で「少ない」と答えた方は、他にどのような動画があるとよいと感じましたか。

無回答

⑤STEP1の動画で分かりにくい内容はありましたか。

評価票の使用方法

リスク管理(事故時の対応)

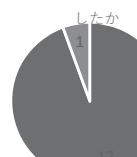
STEP1をはじめる前に、車いすでの移動の介助

介助をする際、声掛けするたびに直接利用者に触れているのが気になった。信頼関係が築けていればこそその接触であって、むやみやたらに接触するのはどうかと思う。また、衣類の着脱の際のスクリーンを閉める前の利用者の同意や、着脱の際の「都度」の声掛けができるないと思う。ここは評価としてはXを付けさせてもらいました。

③STEP2の動画の本数は適当だと感じましたか。



①STEP1の動画の本数は適当だと感じましたか。



⑥STEP2の動画で分かりにくい内容はありましたか。

例：座位での上衣の着脱の介助 2

STEP2をはじめる前に

評価がxの場合、正解の動画があるとわかりやすいと感じた

STEP1と同様に、利用者の体調や痛みの有無について、声掛けするタイミングが技能実習指導員の采配による点が大きくなってくるのではないかと思う。

⑦今回の動画を視聴して、試験評価者養成講習時と比較して、試験実施への不安は解消されましたか。

試験評価者が試験実施場所へ行き、どのような動きをするのか、試験キットなどのタイミングで受け取り、中には実際に何が入っているのかなど、映像で見れるとよいろいろなパターンの事例を体験したいと思います。

一度視聴しただけでは解消されたとは言えないが、繰り返し見ることで軽減されると思われる

慣れも必要かと思われるため、何度も見直しを行いたい。

大きな法人さんへ出向いての評価は気がひける。もし自分が技能指導員としての立場で、落第させられたら・・・と思うと、評価が公平に行えなくなってしまうよう思える。いくら「基準」はあっても、評価者の目線で評価すると、今回の動画では、落第点を押さざるを得ないような気がする。

【3】WEBツールの操作に関してお聞きします。

①WEBツール操作案内(メールでご案内した資料)でわかりづらい点はありますか。

できるかできないかで判断するさいの詳細な「基準」をはっきりしてほしい。

操作案内の図と実際のWEB表記にズレがあり、分かりづらかった。

三本線から再生しないと完了しないというのがわかりにくいです。真ん中の再生ボタンが振り返り学習用であることを、もっとわかりやすく表記できないものでしょうか。

ログインのアドレスが間違っていて時間がかかった。

とても分かりやすかったです

わかりやすく説明していただいたので、スムーズにできました。

②実際にWEBツールを使ってみて困ったことはありましたか。

step1を始める前に、動画で「評価表にはハイライト箇所を記入します。」とありましたが、どこを指しているのかわかりませんでした。

このアンケート画面にたどり着くに、少し迷った。

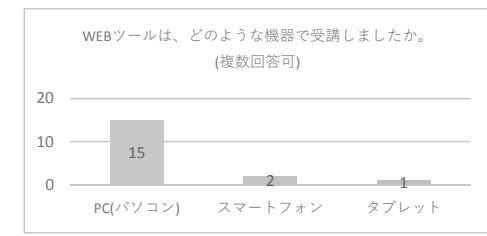
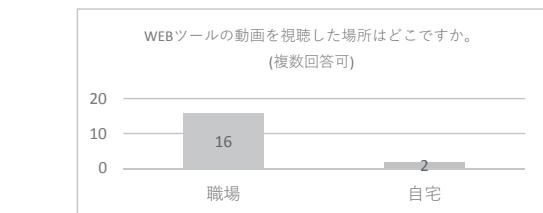
当初は、スマートホンで視聴しましたが、映像の細かな点、音声の明瞭さにおいてパソコンがベストでした。

新着の案内が(現時点では)不要かなと思いました。内容ではないのですが04車いすでの以上介助の音声が重複(反響?)しているようで、聞き取りづらいと感じました。アンケート⑥の例の中で2箇所、移乗(以上)の変換ミスがあります。

資料とPC画面が違う事があったので操作に不安だった。

最後まで、観た動画が見ていないと処理され、2度観ることになった。

利用者は片麻痺な割に自分で腕を曲げたり伸ばしたり、実際に要する時間より短時間で介助できておりますが、実際の現場では、決められた時間内で成否をつけていいくものかどうか、良心の呵責に苛まれるような気がする



【4】WEBツールの操作についてお聞きします。

①評価票の使用方法

リスク管理(事故時の対応)

STEP1をはじめる前に、車いすでの移動の介助

介助をする際、声掛けするたびに直接利用者に触れているのが気になった。信頼関係が築けていればこそその接触であって、むやみやたらに接触するのはどうかと思う。また、衣類の着脱の際のスクリーンを閉める前の利用者の同意や、着脱の際の「都度」の声掛けができるないと思う。ここは評価としてはXを付けさせてもらいました。

②評価がxの場合、正解の動画があるとわかりやすいと感じた

STEP1と同様に、利用者の体調や痛みの有無について、声掛けするタイミングが技能実習指導員の采配による点が大きくなってくるのではないかと思う。

③評価表記の変換ミス

車いすでの移動の介助

着脱の際のスクリーンを閉める前の利用者の同意や、着脱の際の「都度」の声掛けができるない

大きな法人さんへ出向いての評価は気がひける。もし自分が技能指導員としての立場で、落第させられたら・・・と思うと、評価が公平に行えなくなってしまうよう思える。いくら「基準」はあっても、評価者の目線で評価すると、今回の動画では、落第点を押さざるを得ないような気がする。

④評価表記の変換ミス

車いすでの移動の介助

着脱の際のスクリーンを閉める前の利用者の同意や、着脱の際の「都度」の声掛けができるない

大きな法人さんへ出向いての評価は気がひける。もし自分が技能指導員としての立場で、落第させられたら・・・と思うと、評価が公平に行えなくなってしまうよう思える。いくら「基準」はあっても、評価者の目線で評価すると、今回の動画では、落第点を押さざるを得ないような気がする。

⑤評価表記の変換ミス

車いすでの移動の介助

着脱の際のスクリーンを閉める前の利用者の同意や、着脱の際の「都度」の声掛けができるない

大きな法人さんへ出向いての評価は気がひける。もし自分が技能指導員としての立場で、落第させられたら・・・と思うと、評価が公平に行えなくなってしまうよう思える。いくら「基準」はあっても、評価者の目線で評価すると、今回の動画では、落第点を押さざるを得ないような気がする。

⑥評価表記の変換ミス

車いすでの移動の介助

着脱の際のスクリーンを閉める前の利用者の同意や、着脱の際の「都度」の声掛けができるない

大きな法人さんへ出向いての評価は気がひける。もし自分が技能指導員としての立場で、落第させられたら・・・と思うと、評価が公平に行えなくなってしまうよう思える。いくら「基準」はあっても、評価者の目線で評価すると、今回の動画では、落第点を押さざるを得ないような気がする。

⑦評価表記の変換ミス

車いすでの移動の介助

着脱の際のスクリーンを閉める前の利用者の同意や、着脱の際の「都度」の声掛けができるない

大きな法人さんへ出向いての評価は気がひける。もし自分が技能指導員としての立場で、落第させられたら・・・と思うと、評価が公平に行えなくなってしまうよう思える。いくら「基準」はあっても、評価者の目線で評価すると、今回の動画では、落第点を押さざるを得ないような気がする。

⑧評価表記の変換ミス

車いすでの移動の介助

着脱の際のスクリーンを閉める前の利用者の同意や、着脱の際の「都度」の声掛けができるない

大きな法人さんへ出向いての評価は気がひける。もし自分が技能指導員としての立場で、落第させられたら・・・と思うと、評価が公平に行えなくなってしまうよう思える。いくら「基準」はあっても、評価者の目線で評価すると、今回の動画では、落第点を押さざるを得ないような気がする。

⑨評価表記の変換ミス

車いすでの移動の介助

着脱の際のスクリーンを閉める前の利用者の同意や、着脱の際の「都度」の声掛けができるない

大きな法人さんへ出向いての評価は気がひける。もし自分が技能指導員としての立場で、落第させられたら・・・と思うと、評価が公平に行えなくなってしまうよう思える。いくら「基準」はあっても、評価者の目線で評価すると、今回の動画では、落第点を押さざるを得ないような気がする。

調査3：第2弾検証調査アンケート結果

【1】WEBツールの利用環境についてお聞きします。

①本WEBツールの動画を視聴した場所はどこですか(複数回答可)

項目	個数
職場	51
自宅	29
移動中	5
喫茶店	1
総計	86

②本WEBツールは、どの機器で視聴しましたか(複数回答可)

項目	個数
PC(パソコン)	65
スマートフォン	12
タブレット	4
総計	81

③本WEBツールの動画で学習した期間を教えてください(繰り返し視聴した場合も含)

項目	個数
1日間	12
2~3日間	28
4~5日間	11
約1週間	6
約2週間	9
約3週間	4
総計	70

【2】WEBツールの内容についてお聞きします

①-1「[B]外国人技能実習制度の理解」について内容は理解できましたか

項目	個数
十分理解できた	29
だいたい理解できた	41
総計	70

①-2「[C]介護技能実習評価試験の仕組み」について内容は理解できましたか

項目	個数
十分理解できた	24
だいたい理解できた	46
総計	70

①-3「[D]試験評価者の役割と業務」について内容は理解できましたか

項目	個数
十分理解できた	30
だいたい理解できた	40
総計	70

①-4「[E]学科試験の実施方法」について内容は理解できましたか

項目	個数
十分理解できた	25
だいたい理解できた	44
あまり理解できなかった	1
総計	70

①-5「[F]実技試験の実施方法」について内容は理解できましたか

項目	個数
十分理解できた	19
だいたい理解できた	50
あまり理解できなかった	1
総計	70

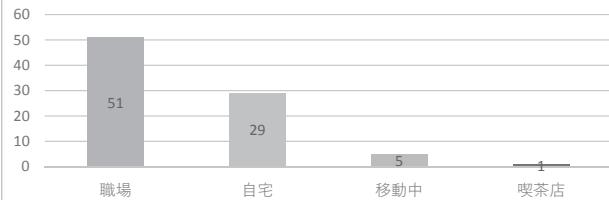
①-6「[G]初級 実技試験 模擬評価」について内容は理解できましたか

項目	個数
十分理解できた	20
だいたい理解できた	49
あまり理解できなかった	1
総計	70

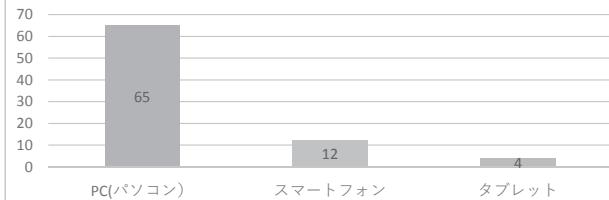
①-7「[H]試験実施機関と試験評価者の関係」について内容は理解できましたか

項目	個数
十分理解できた	26
だいたい理解できた	44
総計	70

①本WEBツールの動画を視聴した場所はどこですか(複数回答可)

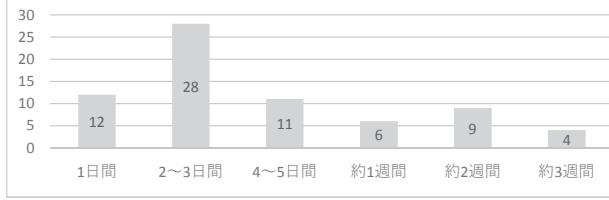


②本WEBツールは、どの機器で視聴しましたか(複数回答可)



③本WEBツールの動画で学習した期間を教えてください(繰り返し視聴した場合も含)

(繰り返し視聴した場合も含)



①-1「[B]外国人技能実習制度の理解」について内容は理解できましたか

①-3「[D]試験評価者の役割と業務」について内容は理解できましたか

①-5「[F]実技試験の実施方法」について内容は理解できましたか

①-6「[G]初級 実技試験 模擬評価」について内容は理解できましたか

①-7「[H]試験実施機関と試験評価者の関係」について内容は理解できましたか

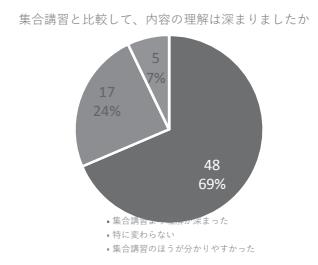
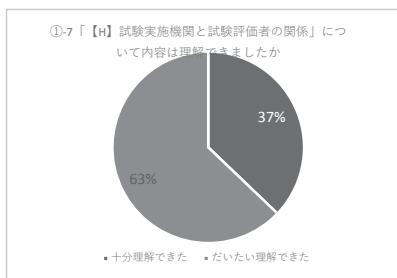
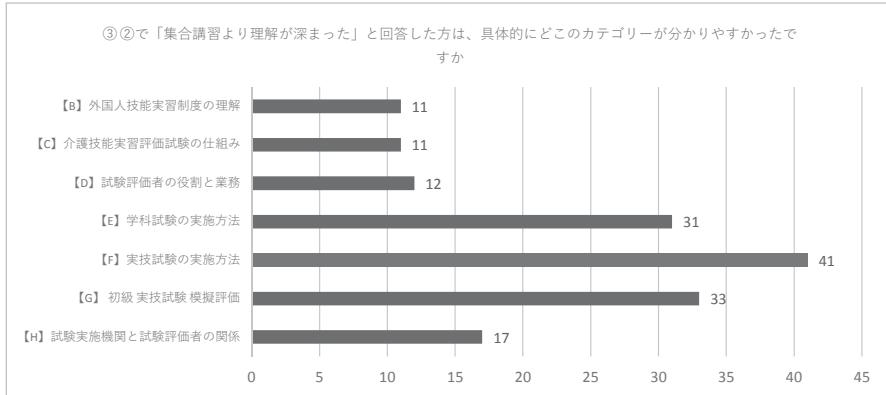
②本WEBツールは、どの機器で視聴しましたか(複数回答可)

③本WEBツールの動画で学習した期間を教えてください(繰り返し視聴した場合も含)

②集合講習と比較して、内容の理解は深まりましたか	
項目	個数
集合講習より理解が深まった	48
特に変わらない	17
集合講習のほうが分かりやすかった	5
総計	70

③ ②で「集合講習より理解が深まった」と回答した方は、具体的にどこのカテゴリーが分かりやすかったです。その理由も教えてください。(※理由は「その他」にご記載ください。)

項目	個数
【H】試験実施機関と試験評価者の関係	17
【G】初級 実技試験 模擬評価	33
【F】実技試験の実施方法	41
【E】学科試験の実施方法	31
【D】試験評価者の役割と業務	12
【C】介護技能実習評価試験の仕組み	11
【B】外国人技能実習制度の理解	11
総計	156



具体的に動画を視聴する事により、試験時の様子や受験者の対応イメージを持つことが出来ました。また、利用者役のADLによる違い等、より平等性を保つ事の重要性を感じました。

試験評価者は実際にどのような役割を担うのかが、具体的に理解できた。

集中講義で漠然としていたものが、繰り返し視聴することで実際のイメージに繋がったと思います。

できる、できない理由がはっきりした。また、キャリア段位制度のレベル認定をそのまま活用すればよいことが認識できたから。

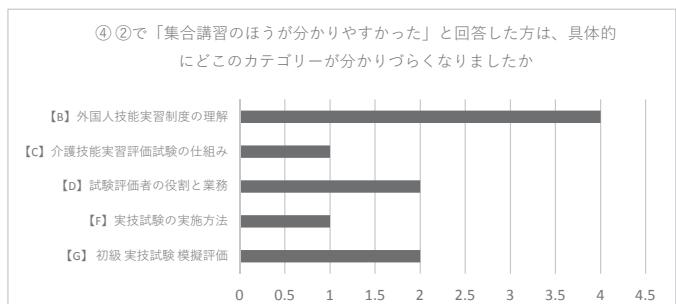
自分のベースで視聴することができた。繰り返したり戻って見返すことも可能なため。

評価表を用いて実際に評価することができ、具体的にイメージすることができた。

全ての項目において曖昧な記憶であったが、復習することで理解を深めることができた。

反復により理解が深まった。
自分のベースで理解できるまで、何回も見れるので良かった。
落ち着いて集中して自分のベースで学べるから。
動画が会場より見やすかった
ビデオがわかりやすかった
質疑応答ができたから
具体的な試験のイメージが理解できた。
動画で何度も振り返ることができる、実施方法の十分なマスターに繋がった。
集合講習も必要と思うが、理解を深めたいところを複数回見れる事が出来た

④ ②で「集合講習のほうが分かりやすかった」と回答した方は、具体的にどこのカテゴリーが分かりづらくなりましたか	
項目	個数
【G】初級 実技試験 模擬評価	2
【F】実技試験の実施方法	1
【D】試験評価者の役割と業務	2
【C】介護技能実習評価試験の仕組み	1
【B】外国人技能実習制度の理解	4
総計	10



画像が不鮮明で分かりづらいスライドがある。テキストの併用が必要
グラフ等の資料画像が鮮明ではなく見にくい。音声も少し単調に感じた。刺激が少ないため内容が頭に入りにくい感じがする。テロップが流れてくる際、文字が流れてくる場面が多くて、目が疲れた。

動画(資料)が見にくい。全体的に1コマ数分で負担は少ないと思いますが、内容が中途半端で終わるので、逆に分かりづらかったです。

すぐに質問できること。また、講師は映像では不要、かつ今回の場合は女性ナレーターの方が聞き取りやすい。画面いっぱいにボードを見せてほしい。

しっかり着座し、テキストで読むのも大切に感じました。

自身の評価が正しいのかどうかわからないから

映像がふんだんに活用され、イメージがしやすかった

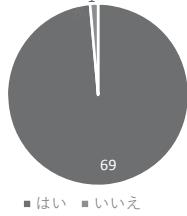
⑤本WEBツールでは何度も繰り返し動画を視聴することができますが、自己学習の手助けになると思いますか	
項目	個数
はい	69
いいえ	1
総計	70

⑥ ⑤で「はい」と回答した方は、どのカテゴリーが特に自己学習として繰り返し確認したいですか	
項目	個数
【H】試験実施機関と試験評価者の関係	17
【G】初級 実技試験 模擬評価	46
【F】実技試験の実施方法	64
【E】学科試験の実施方法	53
【D】試験評価者の役割と業務	20
【C】介護技能実習評価試験の仕組み	12
【B】外国人技能実習制度の理解	11
総計	223

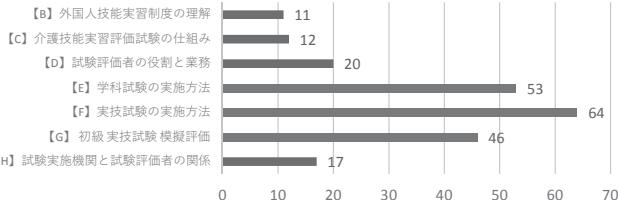
⑦ ⑤で「はい」と回答した方は、本WEBツールを自己学習として利用する際、どのような目的で利用しますか	
項目	個数
集合講習の復習として利用	19
試験評価者としての知識や技能を維持するために利用	44
実際に試験評価に行く前に確認として利用	65
総計	128

⑧ ⑤で「いいえ」と回答した方は、理由を教えてください。	
いただいている資料で確認できます。WEBツールは、確認したいところのみ見られるようにしていただけるなら便利です。	

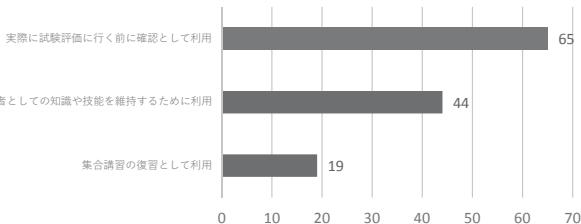
⑤本WEBツールでは何度も繰り返し動画を視聴することができますが、自己学習の手助けになると思います



どのカテゴリーが特に自己学習として繰り返し確認したいですか



本WEBツールを自己学習として利用する際、どのような目的で利用しますか



⑨集合講習と本WEBツール両方を経験してみて、集合講習のほうが優れていると思う点があれば教えてください

1日で終わるため、負担は結果的には少なく、忘れない。

このために時間を確保した事により講習場所で受講出来たことにより集中して学習できたから。

その場、時間、空間の限リがあるからこそその意識が集中しやすく、他社の介入が生にあることでモチベーションが高まる。

試験評価者としての意識が強く持てる、意見交換ができる

時間を費やし、個人学習（WEBツール）では理解を深めることができることが多いと思う。やはり、講習を受けることで、意識的変化が伴うことが多いと思う。

実際の緊張感や練習問題などがありよかった

受講者全員で学習するので集中ができるように感じました。

集合講習の方が緊張感を保つことができる

集合講習の方が理解しやすい聞きやすい文字も見やすい

定められた時間のなかでしっかりと学習するので集中して覚えることができる。

適度な緊張感があり、集中して講習に臨むことができる。リアルタイムに疑問を解決することができる。

その場でわからない所が直ぐに聞ける

その場で質問できる

その場で質問できる 他受講生と情報の確認ができる

研修場所に行って直接話を聞けるのですぐに質問が可能。緊張感も持てる。

質問ができる

質問が出来る

質問が直ぐに返ってくる。モチベーションが上がる

質問にすぐに応えてもらえること。初めは疑問点だらけだと思うので。

実際に聞いて理解できると思うし、質問もでき簡単に解決できると思う。

分かりにくいところはその場で質問するなどできる

シルバーサービス振興会の方の直接的な話は、評価者の熱意というか思いが通じると思う。

講師にプレゼン力があるので、わかりやすい。

試験評価者の仕組みや役割などの理解は講師からの直接の講義の方が印象に残る。試験評価者としての意識づけを行う点では優れていると感じる。

試験評価者同士の意見交換

席の周りの方と話ができる

他事業所との競争力がめばえるところ。又技能実習生にみんなで取り組んでいくんだという連帯感。

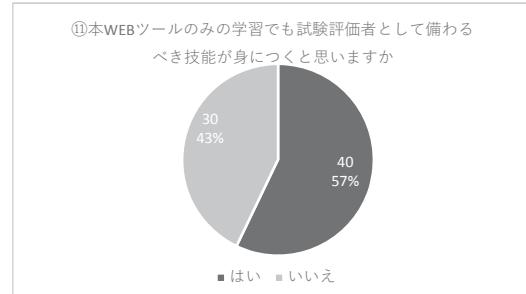
他評価者との交流や実施内容の確認ができる点

いただいた資料を自分の見たいところを何度も見ることができるところ

集合講習とともに、フォローアップとして必要に思います。

⑩集合講習と本WEBツール両方を経験してみて、本WEBツールのほうが優れていると思う点があれば教えてください
・反復により理解が深まるこ ・・場所と時間を選ばないこ。
いつでもどこでも繰り返し勉強できる、隙間時間を利用できる。
何度も繰り返し確認できるところがよい
何度も繰り返し見れる
何度も繰り返し必要な場面、項目が学習できること
何度も動画などを見て知りたいことを確認できる。
確認で何度も見返すことができた。
苦手な部分を繰り返し確認できるところ
苦手な部分を繰り返し見ることが出来、不安な部分も書くんが出来る。
繰り返し、あるいは、疑問に思った時の確認等の振り返りにはとてもいいです
繰り返し何度も学習ができる自身としてはよかったです。
繰り返し確認したいところが学習できる
繰り返し学習することができる
繰り返し学習できること 模擬試験が学習できること
繰り返し見る事が出来る
繰り返し見れる。
繰り返し見れるところはよいと思う。試験の流れなどは実際派遣が決まってから復習したい。
繰り返し視聴でき、確認できる点（特に実施試験関連の動画は、×評価の例を含め確認したい）
細かい点を再確認するのによい、実際のやり方を確認できる。
実技試験の具体的な内容や、試験者としての対応を繰り返し確認することが出来る点では優れていると感じる。一度の講習では時間の経過とともに記憶が薄れてしまうがツールがあれば試験直前の確認に大変役立つと思う。
受講者のベースで業務にあわせて学習できる。繰り返し学習できる。集合するための時間、旅費等の負担がおさえられる
集合講習で聞いたはずで忘れていたことを繰り返し確認できる…
十分な理解に至っていない箇所の復習がいつでも自己学習ができる。
復習ができ、忘れた所や確認したいと思った事等、何度も繰り返し確認できる事。
復習が可能なこと。
復讐のツールとして。
分からぬところは、繰り返して学習できる。
理解が不十分な点を何度も聞ける。
いつも確認ができる
いつも視聴できる。
たいへん申し訳ないが、滑舌や声が聞き取りにくいかつぱーども小さく見づらい男性講師のカテゴリーや項目は女性ナレーターに変えてボードを大きくしてください。であれば、全てにおいて、確認しやすい。疑問点は、電話やメールでも可。
移動時間や休憩時間等を使いできる場所で見たいものが観れる
時間の都合が付きやすい
自身のベースで、やりたいとき見たいときにできること。
自宅でできるのは、やはりよいところですし、何度も見ることができることは良い。
自分のベースでくり返し学習できる
自分の好きな時間に所定の項目を繰りかえし視聴でき、理解が深まる。
自分の都合で確認できる
場所と時間にとらわれないこと
理解が不足している部分について、自分のベースで繰り返し学習できること。
実際のセリフや、評価している場面は参考になる。
動画が多く、イメージがつきやすい。
評価方法を動画で確認できた
文章だけでは読み取れない動作を学ぶ事ができ、指導員や試験環境等、一定の条件を明確に指示が可能になると感じました。
どの地域に居ても共通した内容で受講できる
共通の動画を視聴することで、手順の確認などが統一でき、また評価者の技量のばらつきを少なくすることができる。
詳細・丁寧な内容 PCで見ましたが、文字の画面になると画面が荒く解析度が落ちていると思いました

⑪集合講習と本WEBツール両方を経験してみて、本WEBツールのみの学習でも試験評価者として備わるべき技能が身につくと思いますか
項目
項目 個数
はい 40
いいえ 30
総計 70



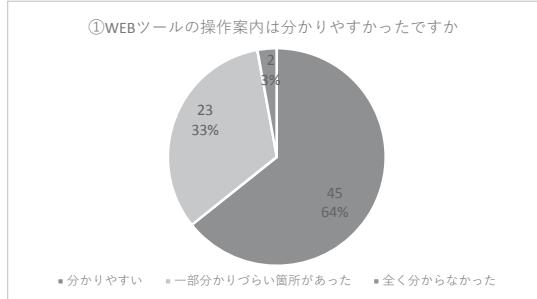
⑫⑪で「いいえ」と回答した方は、理由を教えてください
「はい」に近い「いいえ」です。WEBツールのみで何度も見直しすれば十分技能は身につくと思いますが、集合講習でベースとなる部分があつてのWEBのほうが格段に理解度が違います。やはり、集合研修→WEBという流れの学習が良いのではと思います。
その場で質問できる集合講習も大切 集合研修ののちWEBでの自己学習でより深まる
まずは、集団講習会で全体の概要をつかみ、その後の学習としてはよいとおもう。
一度は集合させるべきと考える。自宅学習はその本人の社会性のよって信用性が薄いと思う。
集合講習で学習し、ある程度理解をしたうえで更にWEBツールにおいて学習を深める必要性を感じたため。
集中講習で学んだものを、再度動画で確認することで更なる理解に繋がると思います。試験実施までに期間があくので、復習にもなり、きちんと責任が果たせると思います。
予習あるいは復習としては有効に使えると思うが、例えば役割や倫理観といった項目については講習での資質確認とか必要な気がする。
意識を高めるために、集合講習も年に1-2回は必要かと思います
具体的な技術や対応に関してはツールにより理解を深めることができると思う。しかしながら試験の仕組みや試験評価者の役割について知識の基盤がなければ試験評価者としての責務を果たすことは難しいのではないかと感じる。その理解はツールを視聴するだけでは、十分とは言えないのではないか。視聴後に理解度ミニテストなどがあるてもよいと思う。
この制度を安定して実施していくためには、試験評価者としての適正を見極めることも今後は必要になってくるかと思う。その判断には、実際集合講習に参加することも重要なポイントになるのでは?つまり定められた時間、場所に出向くことが出来るかどうか。この判断はWEBツールのみでは出来ないのでないかと思う。
今後の講習ではロールプレイなどを取り入れてもらえばより実践に結びついた学習ができるのではないかと思う。
言葉は適切でないかもしれないが、単にWEBツールだけ聞いていれば評価者に「なれてしまう」ような気がする。実際にお金を払い、その時間をかけてでも評価者になりたいと思う熱意が重要だと、このアンケートの問い合わせを読みながら感じた。
試験評価者の学習意欲や努力によって技能が身につく
集合講習という対面式の講義を受けることで意識の向上が期待できるため
集合講習に参加することによって、試験官としての自覚や他者の姿勢を見る事により、意識向上や品位の維持ができる。また試験官になる為の資格があるだけで試験官になれるのではなく、素質を含め課されている適正を判断すべきと考えます。その理由は、日本での介護分野の外国人技能実習制度における送り出し国による評価を受け、今後の受け入れ国として他国に選定され続けられるかの大きなポイントになる取り組みだと思い、試験官の人数確保も最重要課題ですが、素質を考慮しなければならないと感じます。
責任が伴い、とても重要な役割であると考える。それなりの心構えが出来るような取り組みが必要だと考える。将来的に試験評価者の増員を考え、拡大を視野に入れているのであれば、それ相当の時間と労力は掛けるべきだと考える。
直接の説明の方が、伝わり方が違うと思うので...(古い考え方ですかね)
倫理意識を強く持たねばならないと思うので、集合研修という公の場で自分の姿をさらすことが必要だし、同じ業務に就く集団の中に短時間であれ身を置くことも必要。
ツール学習を終えた後、集合で演習等の再学習の場があると自信につながる。
概要はわかるが、具体的な行動レベルまで到達すること目標とするならば、評価体験を全項目でやる。また、想定され範囲内の中止となる場面や、止めなければならない場面、がわからない。一連の流れもみないと、限られた時間内で業務遂行できるか不安が強い。
実際に現場の動きを見学し、補助としてつき自身を持ってから動きたい
ある程度集中して時間を確保して学習した方が覚えやすく効率もいいと思う。WEBだと短時間で好きは場所は学習できるが前後抜けがちになるし間違った判断につながりやすいと思う
理解度に差がでると思われる（集中しきれない）
講師の方の説明のほうが、細かい所まで説明があり、質疑応答もしてもらえていたから
分からぬ内容を直接その場で確認そろができるため
視聴者がしっかり理解できる（ちゃんと再生してみているか）かは不明なため
受ける人次第になってしまう部分はあると思います。
他のWEBツール同様、実際は視聴しない人が出てくる
WEBの教材では、文字化けしていたので画面上ではわかりずらかった。
私は集合講習の方がわかりやすかったです。
実際に技能実習制度などや他事業間の話し合いができたよかったです。
集合講習では、もっと詳しい説明があった。
様々な実習生がいるため、試験実施者のスキル構築が必要

⑯小項目(各動画)を作成するにあたり、内容によって映像の種類を変えていますが、視听いただいた映像について「〇〇は再現映像で確認したい」等、ご意見があれば教えてください。
「講師映像」のバックの資料をもっとクリアにしてほしい。「資料映像」の音声は、聞きやすかった。
「講師映像」の資料やテロップを大きくしてほしい
「講師映像」講師が登場し、資料を解説する動画については資料の字が見えずかったです。パソコンの画素数にもよるものでしょうか。
・講師説明時に映像の文字がじんて読めないテロップまたは、スーパーなど 活用して読みやすくしてほしい。・講師、ナレーション同じ人がいいのでは映像中の資料が、ものによっては解像度が低く文字がぼやけて読みづらい。
講師映像での説明テロップが見えずらかった
講師映像の資料が小さく、映像がはっきりしないので分かりにくく。
講師映像の文章の文字がはっきり読めず、分かりずらかった。
資料映像で、テロップ文字が横から流れ来る場面が多かった。流れてくる文字を追うのは、正直つらい。目が疲れると文字を追うことに気がとられ内容が入ってこないと感じる。
講師映像は文字だけの画面よりインパクトはあるものの、動きが少なく単調に思えた。
資料映像は文字が読みにくいので分割して読みやすくするなどの工夫が必要
出来ましたらどの画像も、音量・音質を一定にして欲しいです。画像を変える度、音量を変えるのは煩わしいです。また「講師画像」の際音声が小さく、響く感じがしてうまく聞こえにくいです。他の画像のナレーションの声のように明瞭であると、聞きやすいです。
評価の動画で動作が見づらいところがあった
再現映像でもう少し違う角度からみたい。
試験の場面は、各問題ごとに再現映像があり、もう少しこの部分にポイントを当てほしい、というようなナレーションとか、場面を止めて丸を付けるとかの工夫があるとよい
試験評価時の動画は事例を増やし、Q&Aのように疑問部分が選択できると嘉わりやすくなるのではないかと思う
試験評価者の動きを再現した動画
実技試験項目は全て動画で再現。トラブルシーティングも動画で再現。筆記試験も、ダメな状態や状況を再現してほしい
技能実習指導者の指導マニュアルなどが欲しい。細かい個所まで確認がでてよかったが、実際に現場で詳細に指導を行っているかが不明である。
講師映像は資料映像で確認したいです。再現映像はわかりやすかったです。
講師映像は、講師の姿は不要。
講師映像は、資料映像に変更し、資料を大きく表示したほうがわかりやすい。

再現現場が専門学校で行ったのかと思います。最初の画面に学校名がありました。混乱するので隠したほうがいいのではないか。
 再現動画は自分をかぶせることが出来るので、疑似体験のようで分かりやすかった。
 実技評価動画は大変参考になりました。
 女性の声は聞きやすかったです。
 全ての内容を把握できないのでどの場面でも何度も視聴したい

【3】WEBツールの操作についてお聞きします

①WEBツールの操作案内(メールでご案内した資料)は分かりやすかったですか	
項目	個数
分かりやすい	45
一部分かりづらい箇所があった	23
全く分からなかった	2
総計	70



② ①で「一部分かりづらい箇所があった」「全く分からなかった」と回答された方は、具体的にどの部分が分かりづらかったのか教えてください
 3. 学習の進め方【ステップ1】のところで3本線のマークが2か所あるので間違えてしまいました。マークを変えるか色を変えるとかの工夫が必要と感じました。
 todoとクリップについてわかりにくかった
 どの順番で進めていけばよいのかわからずらかった。また、ミ(メニューボタン)をクリックすればよいと推測されるまでに時間がかかり、かつ、果たしてそれでよいのかどうか最後までわからなかった。実際、最後まで修了したのか、いまだ不安。操作の手順書があれば助かった。
 プログラムの進め方あ、学習済みの部分と、未学習の部分が非常にわかりにくく、同じ操作を繰り返し行うことになった。
 学習の進め方の部分 3本線のマークとの違いが最初はわからず、何度も行ったりきたりしていました。
 視聴終了すると、消えることがはじめわりにくく
 進める順番と終わり方がよくわからなかった。
 pc操作方法が苦手の人であれば、少し混乱した部分がありました。
 パソコン画面に次へが出てこなかったり、図どうりではなかった
 よくメールの説明を読めばよかったのですが、クリア済みの対象とならない方の動画をみてしまった。画面に説明があると分かり易い。
 最初、画面下の次へ前へに気がつかなかった。
 最初に評価してみましょう の部分で評価したが次に進めない。何度も評価を入れてしましました。評価した内容に問題があるのかと思ってしまった(○を×とチェックしたのかもしれない) 3度ほど入力しては戻りをくりかえしてしまった。よく見ると、次のキャプチャーをクリックしていないので入れなかった。ここは、もう少し説明があるほうがよい
 操作がわかりずらく、印刷などをして確認をしたくてできなかった。
 操作しているうちに理解が出来たが、はじめのうちは資料の操作手順がわかりづらかった。基本的な操作の説明、学習の進め方の説明がもう少し丁寧にはじめる前にほしかった。
 ①専用サイトに行くまでに時間が掛かった(PCが古いこともあると思います)
 メールのパスワードは最後がmに見えログインできなかった
 一番最初の、「https://goo.gl/YwL6CP/」は、次回から、どこかのホームページにでもメニューボタンを用意してもらえるのでしょうか? アドレスを開始のたびに資料を見直して打たなければならぬのが手間でした。
 最初のログインで手間取った。これはツールの問題ではなく、ツールに不慣れであったことによるものだった。操作自体はわかりやすかった。
 資料について知識がなく最初に読んでも理解しがたい
 資料全体がもう少し大きくはっきりとした内容にしてほしい。
 最初、操作案内だけでは分かり難かったが、実際に使用してはじめる、スムーズだった。
 進み方が分からない今まで、何とか終了したと思う。
 総論があり、各論に進むようにしてください。
 大きな流れが最初にあればよかったです
 模擬評価
 模擬評価の画像が、映っていない部分があった

③実際にWEBツールを使ってみて困ったことはありましたか

どこまで終わっているのかまだ終わっていないのか不安であった。
 どこまで進んだのかがわからない。
 画面の開き方から進め方が分かりづらかった
 最後まで抜けなく出来たのか不安
 自分では終わったと思っていたが、終わっていなかったこと。
 自分の進捗状況を把握するのに戸惑いました。
 操作の手順についての説明が少なかった。PCに慣れないと理解するまで時間が掛かった。操作はいろいろクリックしながらやってみてわかつってきた。学習にきちんと取りかかるまで少々無駄な時間がかかった気がする。画面表示の順番がわからなかったとの、自分の進捗状況がわかりづらかった。どれくらいの進捗状況かわかれれば学習を進める上で助かったと思う。先が見えず途方にくれるような感じがした。カテゴリーごとに見出しを色分けしてもよいのではないか?
 早送りをしていないのに、早送りするとクリアになります。というのがいくつもあった。
 動画再生中に操作していないのに「早送りは・・」の表示あり、何度も再生を繰り返した。
 特にないですが、間違えてバーを触ってしまうと、早送りするとクリア済になりません、と何度も出て面倒でした。一度クリア済が付いたものは、それが出ないようになると、試験の実際のところを何度も確認したい時に便利だと思います。
 ①システムに慣れるのに頭の整理が必要でした(私の頭が固い...)
 慣れない環境で行ったので時間を要した。
 作業の途中で終了、ログアウトしていいのかがわかりませんでした。その説明があれば、良かったと思います。
 資料として操作方法が送られているが使いこなすまでに時間がかかり上手く順次すまないため同じ事を何度も繰り返すなど時間を費やし、遂行できたのかも不安が残る
 操作方法が慣れるまで、少し苦労した

途中で中止すると一からになると思いつつ必死で見ていた。止める方法がわからなかった。
番号通りに再生できなかつた
理解できているところを早送りしたかったですが、たくさんの時間を要しました。
1回の再生時間が短くて見やすくて良かったです。先に話しましたが、音量・音質が一定ですと継続して学習するのに助かります。
イヤホンで聞いてましたが、音量が一定でなく大きく聞こえたり調整が必要でした。
拡大すると、文字がぼやけて、きちんと読めない、今まででは画質が悪すぎる
資料映像が見にくいです。
小さい文字が見づらかった。
・メールアドレスの説明が今ひとつ解りにくかった。 ・試験評価者ID:KT000000000000に@espa.or.jpを加えたものがメールアドレスです。など表記説明が他にないでしょうか。
毎回IDやパスワードを入力しなければならない事が不便でした。
PCのセキュリティの関係で、アンケートが回答できなかったが、サポート体制がしっかりしていて良かった。親切で丁寧な対応でした。
PCよりもタブレットをオススメしたいと思った。
TOD0を終了後クリップの画像が良く分からなかった
心配ではないが、もっと評価そのものの練習があるほうが良い。私は介護を教えているので、評価することに比較的慣れているが、現場で仕事をしている人は、なかなか細かいところまで見えないと思う。質を担保するのであれば、評価の練習問題があつてもよい
全体時間が長いため1回で終了するのは難しかつた
全体把握するまで何度も操作しましたが、困ることはありませんでした。
特に文章を読む部分の学習が操作方法がよくわからず、何度もやつてもクリアにならずに困った。
評価表B表は「コピー」する必要があり、夜中だったので、コピーできず翌日に持ち越した

この事業は平成30年度厚生労働省生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(社会福祉推進事業分)の一環として行われたものです。

**介護技能実習評価試験における試験評価者の資質向上のための
総合的な支援ツールの開発に関する調査研究事業
報告書**

平成31年3月発行

内容照会先 一般社団法人シルバーサービス振興会
〒105-0003
東京都港区西新橋3-25-33 NP 御成門ビル6階
TEL 03-5402-4880 FAX 03-5402-4884